

【資料3-1】プロモーション業務について

現在の業務進捗状況

(公共交通利用促進パンフレット)

- 昨年度発行の公共交通利用促進パンフレット『乗ろうよ!』の進化版として『もっと乗ろうよ!』を作成中
 - ※ 『乗ろうよ!』で着目したペルソナを深掘り, 具体的な生活シーンを「自分ごと」としてイメージしてもらう意図
 - ※ 『もっと乗ろうよ!』はLRT開業関連事業(スペシャルマンスリー)等の各イベントにて配布予定

(公共交通PR動画)

- 『もっと乗ろうよ!』で取り上げた4ペルソナのうち, 2種類の生活シーンに着目したPR動画を作成
 - ※ 「公共交通で新しいことに挑戦できる未来」等のテーマからペルソナを選定中
 - ※ 動画は, 9月以降にLRT電停や市街地のデジタルサイネージ, SNS等で順次放映開始予定

(公共交通利用促進PRブースの出展)

- 市内外の各種イベントにおいて公共交通利用促進PRブースを出展
 - ※ 直近では「FKD縁日(福田屋百貨店:~8/7)」に出展中, 26日の開業記念式典でもブース出展を予定
- LRT部門とも連携しつつ, パンフレット「もっと乗ろうよ!」の配布やパネル展示によるPRを展開
 - ※ 事業効果測定のため, アンケート調査を実施(以後のイベントでも継続的に実施し, 時期を経た変化を計測)

(戦略的な広報PR)

- MNU公式twitterの運用については, 頻度向上のため市職員による投稿へと軌道修正
 - ※ MNU公式HPについても, twitterとの並びを取り, 更新頻度を向上(担当は受託事業者)

(県央地域公共交通利活用促進協議会との連携)

- 県央地域公共交通利活用促進協議会において, 7月に開催した会議で第2回本会議資料を共有・説明
- 本事業において出展するブース内で連携し, 協議会啓発グッズ等を配布・協議会のPRを実施

【資料3-1】プロモーション業務について

(別紙) 『もっと乗ろうよ!』概要



マンガ「New Life Style 近い未来の市民ストーリーズ」全4編



公共交通ネットワークでつながる ネットワーク型コンパクトシティ NCCへ!

誰もがいつまでも安心して暮らし続けられるまち

100年先も持続的に発展し続けられるまちの土台
人口減少、人口構造の変化にも対応できるよう、これまでの都市の成り立ちを踏まえ、都市軸(中心市街地)に加え、身近な地域拠点などにまちの機能を集約していきます。それが鉄道やバス、地域内交通などの利便性の高い公共交通ネットワークなどにつながる、いつまでも暮らしやすい都市の姿です。

Let's Go! New Life Style

新しく整備される公共交通ネットワークを活用することで、どのように便利な暮らしになるのか見てみましょう!

<p>New Life Style 1 休日の活動範囲や交友範囲が広がって、とっても充実!</p> <p>齋藤さん 25歳 / 女性 [宇都宮駅東側エリアの街ナカに居住] 車身世帯 ● 平日20分以内(10分以内)の通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p> <p>25.0%</p> <p>通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p>	<p>New Life Style 2 休日の活動範囲や交友範囲が広がって、とっても充実!</p> <p>加藤さん 16歳 / 女性 / 専業主婦利用 宇都宮駅東側エリアの郊外部に居住 祖父母、両親、兄と同居 ● 平日20分以内(10分以内)の通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p> <p>6.8%</p> <p>通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p>
<p>New Life Style 3 休日の活動範囲や交友範囲が広がって、とっても充実!</p> <p>鈴木さん 70歳 / 男性 [宇都宮駅北側エリアの郊外部に居住] 車身世帯 ● 平日20分以内(10分以内)の通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p> <p>8.8%</p> <p>通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p>	<p>New Life Style 4 休日の活動範囲や交友範囲が広がって、とっても充実!</p> <p>手塚さん 40歳 / 男性 [宇都宮駅西側エリアの街ナカに居住] 妻と子ども3人と同居 ● 平日20分以内(10分以内)の通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p> <p>28.0%</p> <p>通勤・通学が楽になりました。平日は10分以内で通勤・通学が実現し、通勤・通学が楽になりました。</p>



【資料3-1】プロモーション業務について

今後の取組について

(公共交通利用DAY)

- R5年度下半期(土日等を想定)において、公共交通利用DAYを実施予定
 - ※ LRT・バス路線等の無料(安価)利用や、「SF-UNITY」等を活用した市内周遊企画等の実施を検討中
- 公共交通移動の先(降りた先)にある、買い物や観光といった「暮らし」のイメージ・自分ごと化を促進

(エコ通勤普及促進事業)

- 企業MMの実施内容とも連携しつつ、市内事業所への働きかけを実施
 - ※ 優良事業所認証と連動した、バスラッピングによる周知や企業totra配布等のインセンティブ
- 市と包括連携協定を締結している足利銀行(地銀)と協力した施策の周知・展開を継続
 - ※ 同行と連携した市内事業所への積極的なPR・案内(令和4年度)の取組は、関東運輸局長表彰を受賞

(日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM))

- 9月22~23日で本市開催、基調講演やパネルディスカッション等に向けた準備中
 - ※ 基調講演:「LRTの開業,またここに至るまでの長年の経緯(宇都宮市長)」
パネルディスカッション「芳賀・宇都宮LRT開業までのみちのりとこれからの戦略(本市建設部長ら)」
- JCOMMマネジメント賞として、先記の「県央協議会の取組(長期的な広域市町の連携)」を応募済
 - ※ 18年に渡る公共交通利活用に向けた活動が認められ、「JCOMMマネジメント賞」を受賞
- 現地事務局にて、LRT見学会や大谷資料館見学会等からなる「現地企画」の企画・運営
 - ※ 来街者等に向けても絶好のPR機会でもあり、本イベントを積極的に活用

(庁内MM(市職員のエコ通勤促進))

- 「エコ通勤推進デー」の取組の整理・強化を実施し、職員に対しても公共交通利用促進を強く働きかけ

ご意見いただきたい事項

◎ 公共交通利用DAYについて

⇒ LRTや路線バスを用いた実施は、事業者に聞き取った限りでは、予算制約上困難な状況

(案1) バス・地域内交通を対象とした利用DAY

↳ システム誤作動の懸念や運転手の負担等により、市内循環バス(きぶな)等に限定すれば実施可だが、十分な効果を見込めるか

(案2) 公共交通を利用した市内周遊企画(= 公共交通「実質」無料DAY)

↳ 市内観光施設等に「SF-UNITY」を設置、公共交通の利用履歴にもとづき周辺で使用可能なクーポンを配付し、公共交通の利用を「実質」無料に

↳ 「市内どこでも500円以内で移動可能」な制度設計(どこどこ500円)と並びを取り500円相当のクーポン配布を想定

⇒ 2案を比較のうえ、実施エリアや波及効果の広さが期待できる(案2)での実施を考えているかどうか

◎ 次年度以降の制度設計について

⇒ 公共交通利用DAY(体験周遊型企画含む)を含めた今年度の事業ラインナップは継承したうえで、次年度もプロモーション業務を展開していきたいと考えているが、事業個別での過不足感などあるか

↳ 本年度事業で不足している内容・観点や、逆に余剰の事業などあれば、幅広にご指摘いただきたい